

内側から育ち いつか花咲く 『サクラ色』を信じて

校長 橋元 忠史

秋も深まり、正門前の桜もすっかり葉が落ちてしまいました。そんな折、ある方から「桜の花びらのピンク色」にまつわる興味深い話を聞きました。私たちは、春に咲く桜の花を見て、その淡く美しいピンク色に心を奪われます。しかし、その方によると、あの色は花びらだけのものではなく、実は幹や樹皮の中にも、同じピンク色が潜んでいるのだそうです。つまり、春に一齐に咲き誇る花の姿は、桜という樹木そのものがもつ美しさが、一瞬、形となって表に現れたものだということです。



この話を聞いたとき、私は人の成長や振る舞いについて思いを巡らせました。私たちが目にする子どもたちの言葉や行動は、まさに花びらにあたる部分です。その美しさや鮮やかさは、子ども自身がもつ内面の豊かさ、日々の学びや関わり、積み重ねてきた経験といった「見えない部分」に支えられています。逆に言えば、心の中にある思いや価値観が整っていけば、自然とその子の言動にも優しさや誠実さが表れてくるということでしょう。

そう考えると、私たち大人の役割とは、目に見える表面だけを認めたり咎めたりすることではなく、子どもたちが心の根をしっかりと育てていけるように関わることだと改めて感じます。できた・できない、良い・悪いだけで判断するのではなく、その行動の背景にある思いや迷いに寄り添いながら、子どもが自分自身の「幹」を太くしていけるように支えること。その積み重ねが、やがて花びらとなってあらわれるのだらうと思います。

また一方で、桜の話には、私たち大人自身の在り方について考えさせられるところもあります。子どもの前に立つ教師や保護者の言動も、私たちの内面が表れる「花」のようなものです。心に余裕があるか、理想や志をきちんと持てているか、日々の行いが誠実であるか。そうした内側の在り方が、そのまま子どもと向き合う姿勢に現れてきます。子どもたちは、大人の言葉以上に「大人の背中」を敏感に見つめています。だからこそ、私たち自身が学び続け、誠実であろうとする姿を見せることが、子どもたちにとって何よりの手本になるのだと思います。

桜の花びらの美しいピンク色は、樹木全体に宿る色が、冬の寒さに耐え、春の陽光を受けてそっと姿を現したものだと言われます。子どもたちが見せる笑顔や挑戦する姿、思いやりのある行動も同じように、日々の温かな関わりや安心できる環境があってこそ生まれるものです。これから本格的な寒さがやってきますが、そんな時期にもきっと「サクラ色」は子どもたちの中に蓄積されていくのでしょう。そして、まだ見えないその「サクラ色」が春に見事に花咲くことを願いつつ、今日も子どもたちの「見えない部分」に光を当てるため、正門に立ち、笑顔で出迎えたいと思います。

【12月の主な行事】

1日(月)	新一年入学児童選考願書受付 及び面談(～8日)	12日(金)	冬季休業前特別貸出(高)
8日(月)	図書返却期間(～10日)	13日(土)	ちからの会門松づくり
9日(火)	教育相談【希望者】(～16日)	15日(月)	冬季休業前特別貸出(中)
		16日(火)	冬季休業前特別貸出(低)
			PTA 理事会
		24日(水)	後期前半終了

～周りの「こと・もの・ひと」を大切にしよう～

● 学校参観週間（オープンスクール）を開催しました

11月4日（火）～7日（金）の期間に、学校参観週間を開催しました。

期間中には、保護者や祖父母、次年度の入学希望者など、1038名の多くの方々に普段の学校の様子を参観していただきました。来校者からは、下のような意見を頂きました。今後も、よりよい教育活動が展開できるように職員一同努めてまいります。ご多用の中にも関わらず、多くの方々にご参観いただき、ありがとうございました。



【学習の様子を参観する参観者】

- ・ 子どもたちがのびのびと自分の考えを伝え合えるところがいいと思った。
- ・ 先生たちが多く出張している日もあったが、子どもたちが自分たちで自習できるところを見ることができたのもよかったし、そのような日にも、ありのままを公開するところもよかった。
- ・ けがをした子どもがいたときの、先生たちの対応や職員間の連携を直接見ることができ、安心できた。

● とことん探究に浸ることができた「マイプロ Day」

11月12日（水）には、マイプロ Dayを開催しました。3～6年生は、午前の時間を活用して思い思いに探究に必要な道具を準備して探究に取り組んだり、校外に出かけて普段のマイプロではできない体験活動や調査活動に取り組んだりすることができました。昨年度から始まったマイプロ Dayは今回が4回目でした。回数を経るごとに外部講師として来校してくださる保護者や専門家、大学生などの方々が増えたり、子どもたちが探究の学び方を理解して黙々と没頭している姿が増えたりしていることも成果の一つだと考えています。ご家庭においても、お子様が取り組んでいる探究の内容や方法について話題にされてみてください。



【探究に取り組む子どもと外部講師】

また、当日はさつま町の教職員の方々が12名探究学習研修視察として来校され、子どもの個人探究について説明を聞いたり、子どもの探究の様子を参観されたりしました。さつま町では全学校で探究学習を推進しています。本校も他校の先生方との情報交換を行い、子どもがよりよい探究ができるように、職員一同、研修を深めていきたいと考えています。



【マイプロの説明を受けるさつま町教職員の方々】

● PTA 講演会開催 演題：情報過多社会を生きる子どもたちを守るために

11月17日（月）の午前は、本校においてPTA講演会が開催されました。講師として、日本放送協会（NHK）鹿児島放送局局長の藤森様をお招きしてご講話頂きました。会に参加された方々は、子どもだけでなく、周りで見守る保護者や教師も、情報を見極めたり活用したりするといったメディアリテラシーを育んでいくことが大切であることを実感されていました。

子どもを取り巻く社会は、情報が増えているだけでなく、テクノロジーも急激に進化し続けています。お子様がパソコンやスマートフォン、ゲーム機器、タブレット端末（学校用）などを通して、どのような情報に触れているのか、保護者の皆様の声かけ・見届け・助言などのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。